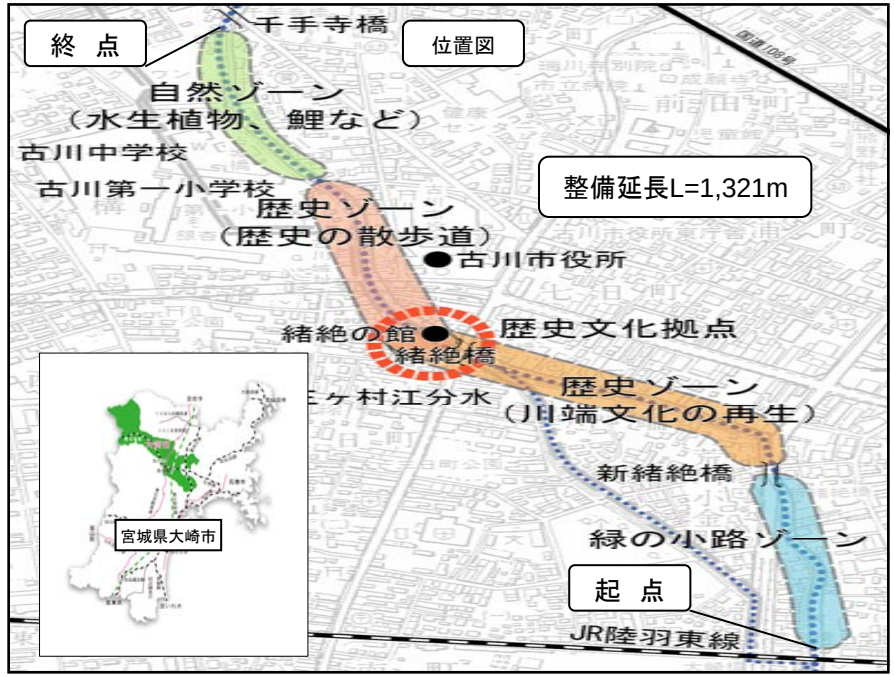
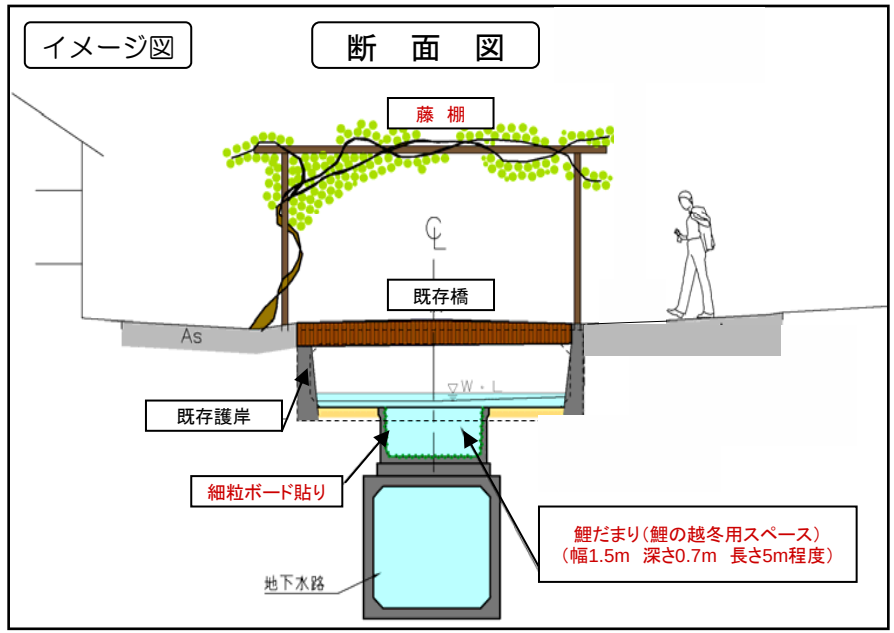
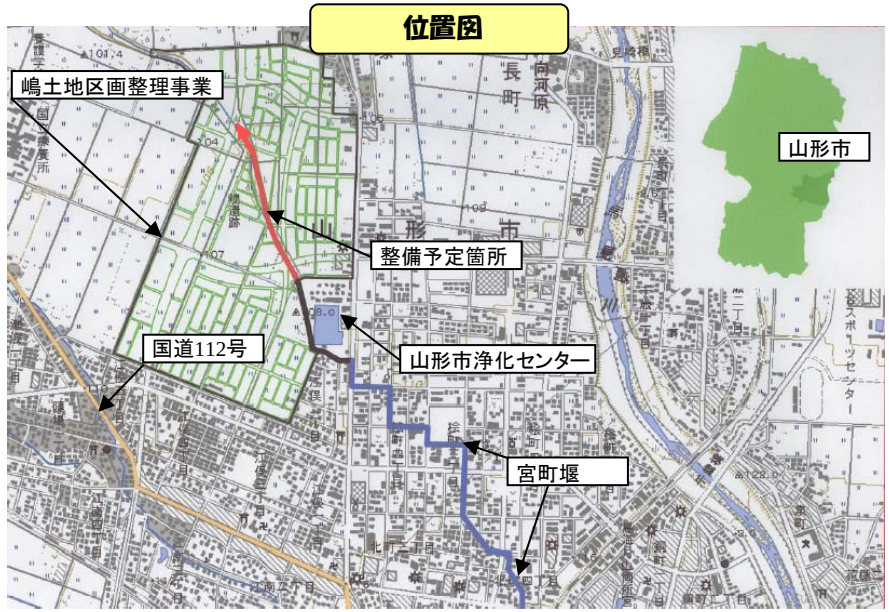
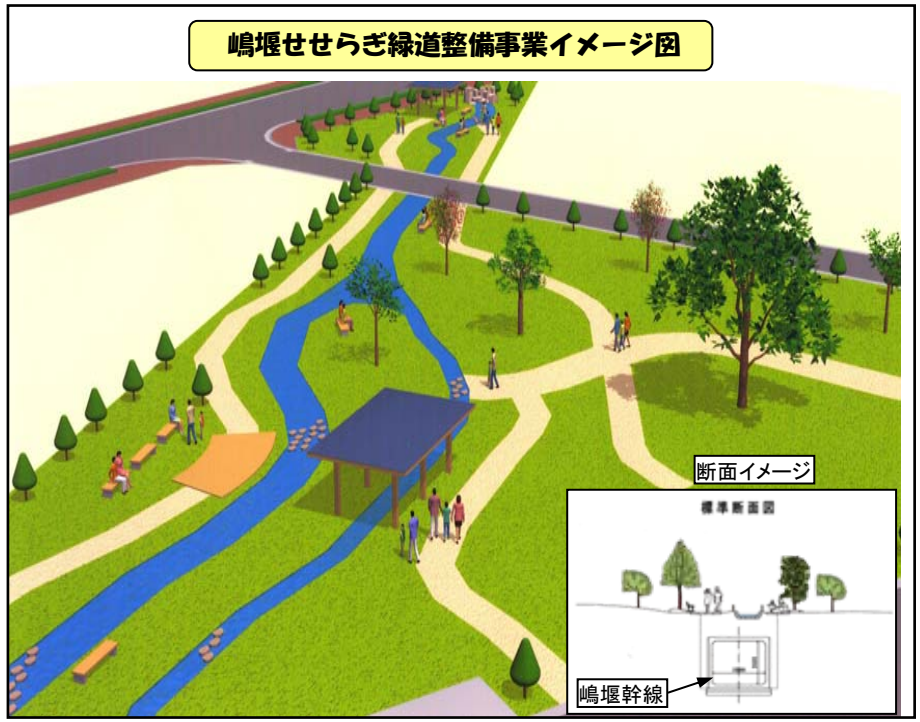
| | |
|---|---|
| 事業名称 | 緒絶（おだえ）川水辺再生事業 |
| 事業種別 | 水環境創造事業　水循環再生型 |
| 事業主体 | 宮城県　大崎市 |
| 実施箇所 | 十日町雨水1号幹線 |
| 実施期間 | 平成19年度～平成21年度 |
| 事業目的 | 大崎市の中心市街地を流れる緒絶川は、和歌に詠われるなど古くから名声を博してきた川である。<br>近年は藤の花が咲く季節に藤まつりが開催され見物客で賑わいを見せ，また美化運動の高まりからあやめの植栽や鯉の放流で清流化の促進が図られている。<br>この緒絶川の護岸がコンクリート化されており景観上好ましくないことから，雨水幹線としての整備と共に護岸の修景や植栽・藤棚等の設置を行い，地域の文化・自然・生活に密着し人々が集い，賑わいのある空間を創出する。 |
| 事業内容 | 大崎市十日町排水区において、雨水1号幹線の整備と合わせ植栽・藤棚等の設置を行う。<br>整備延長L=1,321m<br>・修景護岸（生態系仕上げ・石張パネル）<br>・藤棚　　・鯉だまり<br>・植栽 |
| 担当部署 | 宮城県大崎市建設部下水道整備課<br>TEL0229-23-2265 |



| | |
|---|---|
| 事業名称 | 嶋堰（しまぜき）せせらぎ緑道整備事業 |
| 事業種別 | 水環境創造事業　水循環再生型 |
| 事業主体 | 山形県　山形市 |
| 実施箇所 | 嶋堰幹線 |
| 実施期間 | 平成19年度～ 平成21年度 |
| 事業目的 | 嶋土地区画整理事業地内を縦貫する嶋堰せせらぎは，山形市中心部を流下し古くから親しまれている山形五堰のひとつである宮町堰の下流に位置している。当該事業では，「歴史文化とうるおいを感じる街」をキャッチフレーズに掲げ，水辺空間の整備を色濃く位置付けるとともに，緑豊かでゆとりある水環境を形成することを目標としている。<br>本事業の実施により，沿線住民はもとよりこの地区に訪れた人々にとって，心安らぎ，水と緑にたわむれる親水性ある，良好な水辺空間の創出を図っていくものである。 |
| 事業内容 | 嶋土地区画整理事業地内の中央部を縦貫する嶋堰幹線に沿うように住宅地が近接配置し，居住する計画であるが、その嶋堰幹線の上部空間において，せせらぎ水路，植栽，遊歩道，その他付帯施設を設置し，親水空間の整備を行うものである。またアメニティ創造の場として市民にアピールするものである。<br>・せせらぎ水路（親水空間整備 ）<br>・延長 L= 約 680m<br>（ うち水路部 L= 490m，緑地部 L= 50m，交差道路 L= 140m ）<br>・幅 W =標準 約 9m<br>・雨水処理施設，送水施設，ポンプ施設<br>・植栽，遊歩道，その他付帯施設 |
| 担当部署 | 山形市下水道部建設課計画係<br>TEL023-641-1212（543） |



| | |
|---|---|
| 事業名称 | いわき市雨水貯留浸透助成事業 |
| 事業種別 | 水環境創造事業　水循環再生型 |
| 事業主体 | 福島県　いわき市 |
| 実施箇所 | 公共下水道事業認可区域 |
| 実施期間 | 平成19年度～平成22年度 |
| 事業目的 | いわき市の年平均降水量は、過去10年間の平均で約1,350mmと全国平均の約1,700mmに比べて少なく、水洗用水、散水等の雑用水源として雨水の活用が求められる。一方、都市部の市街化に伴い雨水流出量の増大や、集中豪雨の発生により、近年浸水被害が多発してきており、雨水の流出抑制を図る必要がある。<br>このため、雨水貯留タンクの設置、不要となった浄化槽の雨水タンクへの転用、雨水浸透桝の設置を促進し、健全な水循環系の構築を図る。 |
| 事業内容 | 公共下水道への接続に伴い不要となった浄化槽を雨水タンクへ転用、雨水貯留タンク、雨水浸透桝を設置する者に対し、その費用の一部を助成する。<br>助成額：設置費の3分の2（国費1/3）<br>・浄化槽転用　　限度額　200,000円/基<br>・雨水貯留タンク　限度額　50,000円/基<br>・雨水浸透桝　　限度額　25,000円/基 |
| 担当部署 | いわき市生活環境部排水対策室排水対策課<br>TEL0246－22－1111 |

補助対象区域

いわき市公共下水道事業認可区域内

計 4，475 ha







